

宗教研究

第 81 卷

353

第 2 輯

論 文 [特集：神仏習合とモダニティ]

佐藤 弘夫：「神仏習合」論の形成の史的背景	1
白川 琢磨：神仏習合と多配列クラス	25
アンヌ ブッシイ：神仏習合の系譜	49
下田 正弘：神仏習合という可能性	73
菅野 覚明：神話的世界と菩薩	99
三橋 正：仏教受容と神祇信仰の形成	123
佐藤 真人：神仏隔離の要因をめぐる考察	149
伊藤 聡：神仏習合理論の変容	175
森 和也：近代仏教の自画像としての護法論	201
由谷 裕哉：神仏分離後に語られた藩政期の神社と社僧	227
Fabio RAMBELLI, Buddhist Kingship, the <i>Kami</i> , and Modernity	268

書評と紹介

島 蘭 進：阪本是丸編『国家神道再考』	269
川村 邦光：西村明著『戦後日本と戦争死者慰霊』	275
土井 健司：大貫隆著『イエスの時』	282
保呂 篤彦：延原時行著『対話論神学の地平』	289
入澤 崇：森雅秀著『仏のイメージを読む』	295

日本宗教学会

2007年9月